

## 『都市文化研究』執筆要項

### 1. 使用言語

日本語・英語・中国語のいずれかとする。

これ以外の言語で執筆を希望する場合は、エントリー時に編集委員会に相談すること。

### 2. 版型

A4版

### 3. 原稿の分量

原稿の分量は以下の通りとする。外国語原稿の場合も和文に相当する分量とする。

(1)研究論文・研究ノート・研究資料・特別寄稿および翻訳：

400字換算で60枚以内（本文・註・図表等をふくめて、本誌の体裁で11～15頁）。

※語・文字数よりは総頁数を尊重する。

※和文2万4000字に対して、英語9000語、中国語2万字の割合を目安とする。

※ただし、上記の目安分量を外れた場合でも、編集委員会の判断によって受理する。

(2)研究展望：400字換算で30枚以内（本文・註・図表等をふくめて、本誌の体裁で5～6頁）。

(3)書評・学会レポート・海外レポート：

400字換算で10枚以内（本文・註・図表等をふくめて、本誌の体裁で2～3頁）。

(4)企画：内容・体裁とともに、編集委員会と事前に相談すること。

### 4. 版組と1頁文字数

(1)要旨 横組 48字詰 1段

(2)本文 横組 24字詰 47行 2段（1頁の文字数は2256字）

(3)註 横組 28字詰 行数は可変 2段

### 5. 文字の大きさ

仕上がりは基本的に以下の文字級数で表示される。特にこれと異なる文字の大きさが必要な箇所は、原稿に指示すること。

本文13Q（9ポイント）、註11Q（8ポイント）、要旨13Q、図表キャプション13Q、表の文字は基本12Q（8.5ポイント）。

### 6. 題目・章タイトルほか

副題がある場合は、前後にダッシュをつけるのを基本とする。

章タイトルは3行取り。章タイトルおよび下位の見出し表記は、編集委員会で統一を図ることがある。

### 7. 註などについて

「本文」「註」「引用・参考文献」「付記」の順とする。「註」のみでも、「註」と「引用・参考文献」（文献リスト）を分けても、どちらでもかまわない。註番号は、本文中では片括弧を付す。末尾の註では括弧なしとする。

### 8. 図・表・写真・本文中での引用について

・原稿は明瞭なものとし、1点毎に別ファイルとする。いずれのファイルについても、必ず通し番号を振り、キャプションを本文中に付すこと。

・図面について：

製図は執筆者が行うこと。トリミング・縮小率・仕上がりの大きさを指定すること。必要な文字は貼り

込むか、フォント・ポイント・張り込み位置を指示した見本を添付すること。

・表について：

専門業者が新しく組むことを原則とする（仕上がりに近い見本を作成する）。作成したものをそのまま製版することも、特殊な場合は認める（高度に複雑で、専用ソフトでないと作成できないようなもの）。打ち出しとともにデジタルデータを入稿すること。

・写真について：

トリミング・縮小率・仕上がりの大きさを指定すること。必要な文字は貼り込むか、フォント・ポイント・張り込み位置を指示した見本を添付すること。

・割り付けについて：

図・表・写真については、仕上がりの大きさを計算して本文に割り付けること。使用する図・表・写真の仕上がりの大きさを勘案し、頁数を算出すること。

・本文中での引用について：

本文中で資料等を引用する場合は、該当箇所のインデントを左に3字分詰める。また本文との上下は一行あけないこと。

## 9. 特殊文字や数式の使用

特殊な文字や記号・数式を使用する時には、必要な見本を添付すること。

## 10. 著作権への留意

他社が著作権を有する図表や写真等を使用する場合は、著者自身で著作権者からの許諾を事前に得ること。また、翻訳原稿の場合も、原著者および著作権者からの許諾を得ること。

### ○原稿の提出

・以下の原稿等を9月1日（金曜日）、日本時間で16時までに『都市文化研究』編集委員会宛（[gr-lit-ucrc@omu.ac.jp](mailto:gr-lit-ucrc@omu.ac.jp)）にメールで提出すること。

※その後の差し替え、追加原稿は認めない。

※エントリーの段階で事務局に連絡した情報に変更がある場合は、メールにその旨記載すること。

・原稿（要旨、図・表・写真を貼り込んだもの）正本1部、副本1部（副本は執筆者名を抜く）。正本、副本いずれもPDF、Word双方の形式で提出すること（合計4ファイル）。

※原稿（A4）は、仕上がりの字数・行数（上記4で規定する版組）で提出すること（本文と註のみ。要旨は別紙で構わない）。また、本文、註、図表等を編集し、公開イメージがわかる形式で提出する。

なお、研究論文・研究ノート・研究資料・特別寄稿の場合、要旨・キーワード等を以下の通り添付すること。

①日本語論文の場合は、和文タイトル・英文タイトル、和文要旨・英文要旨、和文キーワード（5語）・英文キーワード（5語）をつける。和文要旨は600～800字程度、英文要旨は300～400語程度とする。

②英語論文の場合は、英文タイトル・和文タイトル、英文要旨・和文要旨、英文キーワード（5語）・和文キーワード（5語）をつける。英文要旨は300～400語程度、和文要旨は600～800字程度とする。

③中国語論文の場合は、中文タイトル・英文タイトル・和文タイトル、中文要旨・和文要旨、中文キーワード（5語）・和文キーワード（5語）をつける。中文要旨は300～400字程度、和文要旨は600～800字程度とする。

上記以外の投稿ジャンルの場合、それぞれ以下のものを添付すること。

翻訳：和文タイトル、英文タイトル、和文解題（翻訳者による解説〈翻訳文の前に置くもの〉。和文解題は600～800字程度）、原著の複写。

研究展望：和文タイトル、英文タイトル

- ・大学院生の単独執筆の場合は指導教員の推薦状（1枚）  
内容に関する推薦および『都市文化研究』に投稿する理由を記述する。書式自由（但し、指導教員自筆のサイン、もしくは押印のあるもの）。  
推薦状については、指導教員が直接都市文化研究センター事務局（gr-lit-ucrc@omu.ac.jp）にメールで提出すること。

- ・原稿に挿入した図面・表・写真データ（jpg、png、excel、ai等。必要な指示書・割付見本）については、査読により掲載が決定した後、編集委員会より提出を求める。

※大学院生およびUCRC研究員の単独執筆の場合は指導教員・受入教員による点検、第一言語以外による執筆箇所（外国語要旨を含む）においてはネイティブチェック<sup>(註1)</sup>や文学研究科提供のプルーフリーディング等、第三者の校閲を原稿提出前に受けることを推奨する。いずれも査読の対象となる。

(註1)学内にも英文校閲補助制度があるので、積極的に利用してほしい。

※投稿原稿を受領した際には、編集委員会より投稿者に基本的にメールにて、3営業日以内に受領確認の回答をおこなうこととする（土日祝は原則対応いたしかねます）。万一、回答のメールが送付されない場合は、改めて上記メールアドレスにご確認ください。

※なお、書式等に関し、上記の規定に合わない原稿が提出された場合、編集委員会で確認の上、原稿受理の前に再提出（修正）を求める、あるいは原稿受理後、編集委員会で統一を図ることがある。

※投稿原稿が受理された場合、公開に至るまでの校正作業は、原則としてPDFファイル上で行うこととする。